



風だより (2026年7~8月)

令和8年7月号
社会福祉法人 将友会
風の丘・上大岡東保育園
TEL 045-846-3938

4月には少し緊張した表情を見せていた子どもたちも、今ではお気に入りの遊びや友だちとの関わりを見つけ、それぞれの居場所の中で安心して過ごせるようになってきました。

6月には、年長のきりん組さんが田植えに行ってきました。当日は多くの保護者の皆さまにもご参加・ご協力いただき、子どもたちにとって貴重な体験の機会となりました。田んぼに足を入れた時の不思議そうな表情や、泥の感触に歓声をあげる姿はとても印象的でした。ご参加いただいた保護者の皆さま、本当にありがとうございました。秋には稲刈りも予定しています。自分たちで植えた苗がどのように育ち、収穫したお米をどのように活用していくのか、今から楽しみです。また、その体験をきりん組だけのものにするのではなく、他のクラスの子どもたちにも伝えたり、一緒に味わったりしながら、育てることや食べることへの興味につながっていけば嬉しく思います。

また、6月下旬からは水遊びが始まりました。入園して初めての水あそびの子もいれば、大きなプールで遊ぶ子もいます。水の冷たさや心地よさを感じながら、友だちと一緒に夏ならではの遊びを思い切り楽しんでほしいと思います。これからさらに暑さが増していきます。園ではWBGT(暑さ指数)を活用しながら、気温や湿度を毎日確認し、屋外で安全に遊べる環境かどうかを判断しています。子どもたちの健康と安全を第一に考えながら、この季節ならではの経験をたくさん積み重ねていきたいと思っています。

田植えも水遊びも、子どもたちにとっては五感を使って世界を知る大切な機会です。「やってみたい」「なんだろう」という気持ちを大切にしながら、育ちを見守っていききたいと思います。(園長 前田一徳)

7~8月の予定

7/7(火) セタ集会

7/15(水) 看護学生実習(2名)

7/16(木) 避難訓練

7/21(火) 身体測定

8/19(水) 避難訓練

8/21(金) 身体測定・運動遊び(きりん・ぱんだ組)

8/24(月) 夏のハーモニー

(Fiony Duoによるバイオリンコンサート)

*きりん組は7~8月にも味噌づくりを行いますので、エプロン・三角巾・マスクのご準備をお願いします。
日程につきましては別途ご連絡します。

「食事のあいさつ」

食事の前後には、感謝を込めてきちんとあいさつをしましょう。「いただきます」は、自然の恵み(動植物の命)を「いただく」ということであり、食事を作ってくれた人や食事ができることに感謝するという意味です。「ごちそうさま」は、「馳走」(走り回る)という言葉から、いろいろなところで食べ物を集めてくれた人たちへの感謝を表すものです。

「鼻の日」

8月7日は「鼻の日」です。日本耳鼻咽喉科学会が昭和36年に制定し、鼻疾患を啓発する日としています。鼻水が出続けたり鼻が詰まったままでは、耳や肺などの病気になり、普段の生活にも影響を及ぼすかもしれません。症状があれば早く治療し、健康に過ごせるようにしましょう。

「よいうんち」

朝から元気なうんちがでるように、生活習慣を見直してみましょう。「よいうんち」を出すためには、バランスの取れた食事と体を動かすことが必要です。黄色がかかった褐色で、いきまずスムーズに出てきます。人によって毎日出たり、2・3日に1回出たりとサイクルは違いますが、「よいうんち」が出ていれば問題ありません。うんちをがまんしないようにしていきましょう。また、どんなうんちが出たか確認してみましょう。

クラスだより

(2026年7~8月)



食事は自分で食べようとする気持ちを大切に、必要な時に介助するようにしています。

手づかみやスプーンを持ち自分で食べられるよう、一人ひとりの成長に合わせて行っています。

スプーンを勧めると喜んで持てますが、上手く口まで運ぶのは難しいためそっと手を添えています。

季節の食材を食べたり名前を知ったりして食べ物への関心を上げていきたいです。栽培ではゴーヤとひまわり、朝顔を育てています。うさぎ組さんと一緒に苗や種を植え生長を観察しています。葉が次第に大きくなることに関心を持つ子どももいます。これからの季節は気温や湿度が高くなり、疲れや不快感で食欲が落ちる事もあります。食事の前に汗流しのシャワーをしたりこまめな水分補給や休息をとり、暑い夏を乗り切りたいと思っています。



入園や進級をしてからあっという間に3か月の期間が過ぎてしまいましたね。子ども達は各グループに分かれたり、夕方はグループもなく遊んだりと活発に過ごしています。6月は気候が安定せず、

子ども達や保護者の皆さんも体調を崩すことが多い月となりましたね。気候が安定しない中では、

大好きな園庭での遊びも制限されてしまうこともありましたが、その分室内での遊びを楽しむことができたと感じています。室内ではパズルやお絵描き、シール貼りを楽しんでいる姿があったり、まったりとお部屋から降っている雨を眺めてみたり、梅雨だからこそできる遊びを楽しむことができたなと感じています。また最近では、植物の栽培にも興味を持ち、ゴーヤの成長を見守りジョウロでお水をあげてくれています。これから暑くなってきましたが、水遊びを中心に心地よく過ごしていきたいと思っています。



あっという間に夏になりましたね。雨の日も増えていますが、晴れた日には保育園の裏に『虫探し冒険にいこう!』と虫探しをしたり、泥水遊びを全身で楽しんだり夏ならではの遊びを楽しんでいます。

お友達を意識して遊ぶことも増えてきていて「〇〇くん! いっしょにあそぼう」など声を掛けている姿も見られるようになってきています。5月末に行ったクッキング“梅シロップを作ろう”では、瓶に梅とグラニュー糖を入れたものを毎日お当番さんが振っていました。こあら組では瓶を振ってお部屋で見守ることを“育てる”と呼び、愛着を持って育てていました。だんだんお砂糖が溶けて変化していく事に驚いていました。完成した梅ジュースのお味は…。お子さんに聞いてみてくださいね!



暑い日が続くようになり、園庭では泥水遊びをする機会が増えました。躊躇なく泥の中に飛び込んで遊ぶ子、靴が汚れるのを気にして手を思いっきり伸ばして泥水をツンツンする子など、様々な楽しみ方をしています。手や足で感触を楽しみ、時にはバケツに注ぐ水の水流に興味を持つ様子も見られ遊び方や、興味を持つ視点はそれぞれです。プール遊びも体全体で楽しんでくれることでしょう。まずは、水慣れから…。楽しさだけでなく水の怖さも指導して行けたと思っています。ゴーヤに花が咲きました。週明けになるとぐんぐん伸びているゴーヤに驚き、背比べしているお友だちもいます。収穫してどんな調理方法で試食するか今から考えるぱんだ組です。



梅雨の晴れ間には夏らしい日差しを感じるようになりました。

6月1日にはたくさん保護者様と田植え体験に参加し、自然の中で稲作に触れる貴重な体験ができました。おかげさまで事故なく終えることができ心より感謝申し上げます。泥の感触や苗の扱いに戸惑いながらも、一つひとつ丁寧に植えることで、食への関心や感謝の気持ちが芽生えたのではと思います。6

月後半からは、園庭で毎日のように泥んこ遊びを楽しんでいました。7月からはプールで思い切り水遊びをして、夏ならではの遊びを満喫したいと思います。これから暑さが本格化する時期となりますので、ご家庭でも体調管理へのご協力をお願いします。年長児として話を聞く姿勢も少しずつ身に付き、相手の気持ちを考えながら行動しようという姿が見られるようになっていきます。今後も一人ひとりの心の成長を大切にしながら、自信を持って様々なことに挑戦できるよう見守っていききたいと思います。